

平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 13 日

上場会社名 ジグノシステムジャパン株式会社
(URL <http://www.gignosystem.com/>)

大阪証券取引所 ヘラクレス市場
(コード番号：4300 スタンダード)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 飯田 桂子
責任者役職・氏名 取締役経営管理部長 吉浜 直人

(TEL : (03) 3556 - 7737)

1 四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有 連結(新規)2社
持分法(除外)1社
公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成 18 年 3 月期第 3 四半期の財務・業績の概況(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 18 年 3 月期第 3 四半期	3,764	(16.0)	39	(91.7)	21	(95.0)
平成 17 年 3 月期第 3 四半期	3,244	(-)	471	(-)	435	(-)
(参考)平成 17 年 3 月期	4,255		564		515	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
平成 18 年 3 月期第 3 四半期	133	(46.3)	286	93	285	98
平成 17 年 3 月期第 3 四半期	248	(-)	3,381	71	3,349	84
(参考)平成 17 年 3 月期	700		8,690	40	8,618	67

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

持分法投資損益

平成18年3月期第3四半期 -百万円 平成17年3月期第3四半期 16百万円 平成17年3月期 22百万円
期中平均株式数

イ) 平成18年3月期第3四半期 465,651株 平成17年3月期第3四半期 73,573株 平成17年3月期 78,337株

ロ) 平成17年5月20日をもって、1株を5株に分割しておりますが、期中平均株式数は当期首に遡って算出しております。

連結財務諸表は平成16年3月決算期より作成しているため、平成17年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間におきまして、昨年資本業務提携いたしました株式会社エフエム東京との協業事業の一つであるFMラジオ番組連動サービスを本格的に開始したほか、第2四半期より開始いたしましたゲーム配信の強化や、第1四半期にグループ化いたしました子会社を活かした音楽配信サービスの強化など、当社グループの事業拡大に努めてまいりました。

インフォメーションプロバイダー事業につきましては、当社グループが運営するサービスの大半を占める待受画面市場の競争の激化により、既存月額課金ユーザーの減少が見られましたが、7月に立ち上げましたKDDI株式会社の携帯電話向けのゲームサイトへの新規ゲームの積極的な追加、また11月にはボーダフォン株式会社の携帯電話に向けてもゲーム配信を開始し、月額課金ユーザーに加えた都度課金による収益の獲得に取り組んでまいりました。既存サー

ビスにつきましても、都度課金による音楽ダウンロードサービスの追加や、より高性能・高品質なコンテンツを追加したプレミアム会員サービスを追加するなど、既存会員単価の上昇につとめることで、当事業の収益拡大に取り組んでおります。

システムソリューション事業につきましては、株式会社エフエム東京が全国のFMネットワークを通じて放送を開始した中高校生向け番組「SCHOOL OF LOCK! (スクール オブ ロック!)」と連動したモバイルサービスを10月に開始し、パソコンとモバイル併せて2,000万ページビュー(2005年12月)を超える大変大きな反響を得るなど、放送・通信が融合した事業展開を順調に進めております。

コマース事業につきましては、年末にかけ消費者の購買意欲が高まることもあり、「ヴィレッジ・ヴァンガード モバイル店」女性向けグッズショップである「ガールズ プラネット」を中心に売上が大幅に増加するなど、順調な売上拡大を果たしております。

映像・音楽制作事業におきましては、平成17年4月にグループ化いたしました株式会社サーティースによるテレビCM音楽制作の受注が順調に推移した他、将来性のある若手プロデューサーの採用を積極的に推し進めることで、将来の同事業の拡大への投資に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は37億64百万円(前年同期比16.0%増)と増収となりましたが、販売費及び一般管理費の増加、連結調整勘定の償却により経常利益は21百万円(前年同期比95.0%減)と減益となりました。また特別利益として投資有価証券売却益、特別損失として役員退職慰労金等を計上したことにより当第3四半期純利益は1億33百万円(前年同期比46.3%減)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成18年3月期第3四半期	10,034	8,636	86.1	18,539 06
平成17年3月期第3四半期	10,139	8,871	87.5	95,625 52
(参考)平成17年3月期	10,120	8,865	87.6	95,036 45

(注) 期末発行済株式数

平成18年3月期第3四半期 465,860株 平成17年3月期第3四半期 92,774株 平成17年3月期 93,073株
 期末自己株式数
 平成18年3月期第3四半期 -株 平成17年3月期第3四半期 -株 平成17年3月期 -株

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、100億34百万円となり前連結会計年度に比べ85百万円の減少となりました。

資産に関しましては、投資有価証券の一部売却がある一方、株式会社サーティースを連結子会社にしたことによる売掛債権や固定資産の増加及び株式取得による連結調整勘定の発生により、現金及び預金が減少したためであります。

負債に関しましては、流動負債が36百万円減少し、固定負債が43百万円増加しております。流動負債の主たる減少要因につきましては、連結子会社取込みによる買掛債務や借入金等の増加がある一方、税金支払いによる未払法人税が減少したためであります。固定負債の主たる増加要因につきましては、投資有価証券の売却により繰延税金負債は減少したものの、連結子会社による長期負債の取込みにより増加しております。

少数株主持分が、連結子会社の取込みにより発生しております。

株主資本に関しましては、投資有価証券の売却に伴う評価差額金の減少により、2億28百万円減少しております。

【添付資料】

(要約) 四半期連結貸借対照表

区分	前第3四半期連結会計期間末 (平成16年12月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成17年12月31日)		前連結会計年度 要約貸借対照表 (平成17年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1 現金及び預金	7,024,273		6,718,796		7,895,514	
2 受取手形及び売掛金	1,173,051		1,416,905		1,091,585	
3 たな卸資産	8,893		16,286		14,452	
4 その他	158,828		432,260		153,977	
5 貸倒引当金	10,573		8,130		9,537	
流動資産合計	8,354,473	82.4	8,576,118	85.5	9,145,991	90.4
固定資産						
1 有形固定資産	127,754		274,155		114,915	
2 無形固定資産						
(1) 連結調整勘定	-		526,197		-	
(2) その他	77,623	77,623	81,413	607,611	68,409	68,409
3 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	1,405,347		413,609		739,751	
(2) 長期貸付金	-		39,146		-	
(3) その他	174,720	1,580,067	123,978	576,734	51,408	791,160
固定資産合計	1,785,445	17.6	1,458,501	14.5	974,484	9.6
資産合計	10,139,919	100.0	10,034,620	100.0	10,120,476	100.0

区分	前第3四半期連結会計期間末 (平成16年12月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成17年12月31日)		前連結会計年度 要約貸借対照表 (平成17年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)						
流動負債						
1 買掛金	602,159		685,426		558,279	
2 短期借入金	-		108,491		-	
3 賞与引当金	19,507		23,454		30,897	
4 その他	183,034		271,188		535,562	
流動負債合計	804,701	7.9	1,088,560	10.9	1,124,738	11.1
固定負債						
1 長期借入金	-		145,182		-	
2 繰延税金負債	463,656		-		130,409	
3 その他	-		28,952		-	
固定負債合計	463,656	4.6	174,134	1.7	130,409	1.3
負債合計	1,268,357	12.5	1,262,695	12.6	1,255,148	12.4
(少数株主持分)						
少数株主持分	-	-	135,319	1.3	-	-
(資本の部)						
資本金	3,324,494	32.8	3,342,995	33.3	3,335,561	33.0
資本剰余金	3,251,653	32.1	3,270,153	32.6	3,262,720	32.2
利益剰余金	1,591,956	15.7	2,017,935	20.1	2,043,934	20.2
その他有価証券 評価差額金	700,836	6.9	59	0.0	224,634	2.2
為替換算調整勘定	2,620	0.0	5,461	0.1	1,523	0.0
資本合計	8,871,561	87.5	8,636,605	86.1	8,865,327	87.6
負債、少数株主持分 及び資本合計	10,139,919	100.0	10,034,620	100.0	10,120,476	100.0

(要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		前連結会計年度 要約損益計算書 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)				
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)			
売上高		3,244,219	100.0		3,764,246	100.0		4,255,697	100.0
売上原価		1,899,322	58.5		2,515,386	66.8		2,523,232	59.3
売上総利益		1,344,896	41.5		1,248,860	33.2		1,732,465	40.7
販売費及び 一般管理費		873,666	26.9		1,209,811	32.2		1,167,609	27.4
営業利益		471,230	14.5		39,049	1.0		564,856	13.3
営業外収益		4,616	0.1		11,004	0.3		4,553	0.1
営業外費用		40,818	1.2		28,460	0.7		53,467	1.3
経常利益		435,028	13.4		21,593	0.6		515,942	12.1
特別利益		32,126	1.0		360,915	9.6		740,906	17.4
特別損失		24,480	0.8		79,348	2.1		30,195	0.7
税金等調整前四半期 (当期)純利益		442,674	13.6		303,159	8.1		1,226,653	28.8
法人税、住民税 及び事業税	167,299			167,047			534,969		
法人税等調整額	26,570	193,869	6.0	7,483	174,531	4.7	9,098	525,870	12.3
少数株主損失		-	-		4,982	0.1		-	-
四半期(当期)純利益		248,804	7.7		133,610	3.5		700,782	16.5